

WA5300-CMW710-R2441-OASIS リリースノート

Copyright(C)2021 Hangzhou H3C Technologies Co.,Ltd.All rights reserved.本
マニュアルのいかなる部分も、Hangzhou H3C Technologies Co.,Ltd.の書面
による事前の同意なしに、いかなる形式または手段によっても複製または変
更することはできません。

The H3C logo is displayed in a bold, red, sans-serif font. The 'H' and 'C' are significantly larger than the '3', which is positioned between them. The logo is centered within a white rectangular area on the right side of the page.

バージョン情報.....	3
バージョン番号.....	3
バージョン履歴.....	3
ハードウェアとソフトウェアの互換性マトリックス.....	3
アップグレードの制限事項およびガイドライン.....	5
ハードウェア機能の更新.....	5
ソフトウェア機能とコマンドの更新.....	5
MIBアップデート.....	5
操作の変更.....	5
制限事項と注意事項.....	5
未解決の問題と回避策.....	5
解決された問題のリスト.....	6
関連ドキュメント.....	7
ドキュメントセット.....	7
ドキュメントの入手.....	7
テクニカル・サポート.....	7
付録A 機能リスト.....	8
ハードウェア機能.....	8
ソフトウェア機能.....	8
付録B ソフトウェアのアップグレード.....	10
アップグレード方法.....	10
Webインターフェイスからのアップグレード.....	10
アップグレードの準備.....	10
Webインターフェイスからのアップグレード.....	10
BootWareメニューからのアップグレード.....	14
アップグレードの準備.....	14
BootWareメニューからのアップグレード.....	15
Xmodemを使用したコンソールポート経由のBootWareのアップグレード.....	21
付録C APモードのfitからOasisへの変換.....	25

このドキュメントでは、バージョンWA5300-CMW710-R2441-OASISの機能、制限およびガイドライン、未解決の問題、および回避策について説明します。このバージョンをライブネットワークで使用する前に、設定をバックアップしてバージョンをテストし、ライブネットワークに影響するソフトウェアアップグレードを回避してください。

このドキュメントは、「関連ドキュメント」に記載されているドキュメントと併せて使用してください。

バージョン情報

バージョン番号

Comwareソフトウェア、バージョン7.1.064、リリース2441

注:このバージョン番号は、どのビューでもdisplay versionコマンドを使用して表示できます。注

①を参照してください。

バージョン履歴

表1バージョン履歴

バージョン番号	最終バージョン	リリース日	リリースタイプ	備考
WA5300-CMW710-R2441	WA5300-CMW710-R2438	2021-02-04	リリースバージョン	なし
WA5300-CMW710-R2438	WA5300-CMW710-R2433P01	2020-10-27	リリースバージョン	なし
WA5300-CMW710-R2433P01	WA5300-CMW710-R2430P01	2020-06-17	リリースバージョン	なし
WA5300-CMW710-R2430P01	最初のリリース	2020-04-01	リリースバージョン	なし

ハードウェアとソフトウェアの互換性マトリックス

△ 注意:

アップグレードの失敗を避けるために、表2を使用して、アップグレードを実行する前にハードウェアとソフトウェアの互換性を確認してください。

表2ハードウェアおよびソフトウェアの互換性マトリックス

項目	仕様
モデル	WA530-WW/WA538-JP
メモリ	WA538-JP:512MB WA530-WW:256MB
フラッシュ	WA538-JP:128MB WA530-WW:32MB
ブートROMのバージョン	Basic:7.13 Extended:7.24 (注:バージョン情報を表示するには、任意のビューでdisplay versionコマンドを使用します。注②を参照してください)。
ホストソフトウェア	WA5300-CMW710-R2441-OASIS.ipe MD5:c920594138b1065d92d142fda4dcfa94
IMCバージョン	該当なし
INodeバージョン	該当なし
備考	該当なし

WA5300のシステムソフトウェアバージョンおよびブートROMバージョンを表示するには、次の手順に従います。

```
<Sysname> display version
```

```
H3C Comware Software, Version 7.1.064, Release 2441-----注①
Copyright (c) 2004-2021 New H3C Technologies Co., Ltd. All rights
reserved. H3C WA530-WW uptime is 0 weeks, 0 days, 0 hours, 26 minutes
Last reboot reason : Power on
Boot image: flash:/wa5300-oasis-boot.bin
Boot image version: 7.1.064, Release 2441 -----注①
  Compiled Feb 04 2021 16:00:00
System image: flash:/wa5300-oasis-system.bin
System image version: 7.1.064, Release 2441 -----注①
  Compiled Feb 04 2021 16:00:00
with 1 ARM 710MHz
Processor 256M bytes
DDR3
4M bytes NorFlash
Memory 32M bytes
```

NandFlash Memory

Hardware Version is Ver.A

Basic Bootrom Version is 7.13 -----注②

Extend Bootrom Version is 7.24 -----注②

[Subslot 0]H3C WA530-WW Hardware Version is Ver.A

[SLOT 1]GE1/0/1 (Hardware)Ver.A, (Driver)1.0

[SLOT 1]GE1/0/2 (Hardware)Ver.A, (Driver)1.0

[SLOT 1]RADIO1/0/1 (Hardware)Ver.A, (Driver)1.0

[SLOT 1]RADIO1/0/2 (Hardware)Ver.A, (Driver)1.0

アップグレードの制限事項およびガイドライン

ありません。

ハードウェア機能の更新

1. R2441以降のAPモデルWA538-JPのサポートが追加されました。
2. R2438以降のAPモデルWA530-WWのサポートが追加されました。

ソフトウェア機能とコマンドの更新

1. ppsk機能のサポートが追加されました。
2. 暗号キーを取得するためのDHCPオプション252のサポートが追加されました。
3. DHCPでIPを取得するときにサーバーのIPアドレスを伝送するオプション253のサポートが追加されました。
4. ACによるfitモードへの切り替えのサポートが追加されました。

MIBアップデート

ありません。

操作の変更

ありません。

制限事項と注意事項

fit APをOASISバージョンにアップグレードするには、まずBootWareをバージョン7.19以上にアップグレードする必要があります。

未解決の問題と回避策

ありません。

解決された問題のリスト

WA5300-CMW710-R2441-OASISで解決された問題

ありません。

WA5300-CMW710-R2438-OASISで解決された問題

202006280550

- 症状:.mdbファイルを使用して実行中のAP設定を復元した場合、クライアントはアソシエーション後にIPアドレスを取得できません。
- 状態:この症状は、.mdbファイルを使用してAP設定を復元した場合に発生することがあります。

WA5300-CMW710-R2433P01-OASISで解決された問題

202006051084

- 症状:MACまたは802.1X認証が設定されている場合、認証サーバーによってレート制限のために展開されたCARは値の範囲外ですが、有効になります。
状態:この症状は、MACまたは802.1X認証が設定されている場合に発生する可能性があります。

202006120598

- 症状:複数のクライアントがオンラインになり、APから頻繁にオフラインになると、APメモリリークが発生します。
- 状態:この症状は、複数のクライアントがオンラインになり、APから頻繁にオフラインになる場合に発生することがあります。

WA5300-CMW710-R2430P01-OASISで解決さ

れた問題

ありません。

関連ドキュメント

ドキュメントセット

- H3CアクセスポイントWebベース設定ガイド

ドキュメントの入手

h3cのWebサイト(www.h3c.com)から関連ドキュメントを入手するには、以下の手順に従ってください。

1. http://www.h3c.com/portal/Technical_Documentsにアクセスしてください。
2. 目的の製品カテゴリとモデルを選択します。

テクニカル・サポート

service@h3c.com

<http://www.h3c.com>

付録A 機能リスト

ハードウェア機能

項目	WA530-WW	WA538-JP
寸法(HxWxD)	170x35.5x170mm(6.69x1.40x6.69mmインチ)	40x183x183mm(1.57x7.20x7.20インチ)
重量	340g(0.75ポンド)	700g(1.54ポンド)
伝送媒体と最大伝送距離	カテゴリ5eツイストペア:100m(328.08フィート)	
電源装置	PoE:54VDC ローカル電源:0.74Aで+54VDC	PoE:54VDC ローカル電源:0.74Aで+54VDC
最大消費電力(USBおよびPoE電力出力を除く)	12.95W	25W
動作温度	0~45°C(32~113°F)	0~45°C(32~113°F)
動作時湿度(結露しないこと)	5~95%RH、結露しないこと	

ソフトウェア機能

特集	説明
自動ポートネゴシエーション	イーサネットポートは、自動レートネゴシエーションおよび自動デュプレックスモードネゴシエーションをサポートしています。
ネットワークプロトコル	イーサネットII IPv4プロトコルスタック TCP/UDPプロトコスタック ARP DHCPクライアント

ワイヤレスプロトコル	802.11 802.11a、802.11b、802.11g、802.11n、802.11ac 802.11i (WEP40、WEP104、TKIP、CCMP) 802.11h WPA
仮想AP(複数のSS ID)	各無線は最大16のSS IDをサポートします。

付録B ソフトウェアのアップグレード

アップグレード方法

システムソフトウェアをアップグレードするには、次のいずれかの方法を使用します。

アップグレード方法	備考
Webインターフェイスからのアップグレード	<ul style="list-style-type: none">アップグレードを完了するには、APをリブートする必要があります。この方法では、進行中のネットワークサービスを中断できません。
BootWareメニューからのアップグレード	この方法は、APが正しく起動できない場合に使用します。
Xmodemを使用したコンソールポート経由のBootWareのアップグレード	Xmodemを使用したBootWareのアップグレード

Webインターフェイスからのアップグレード

APがクラウドAPモードで動作している場合は、WebインターフェイスからAPのソフトウェアをアップグレードできます。

アップグレードの準備

APとPCが互いに到達できることを確認します。

図1: アップグレード環境のセットアップ



Webインターフェイスからのアップグレード

Webブラウザの要件

次のWebブラウザを使用することをお勧めします。

- Internet Explorer10以上
- Firefox30.0.0.5269以降
- Chrome35.0.1916.114以上
- Safari5.1以降

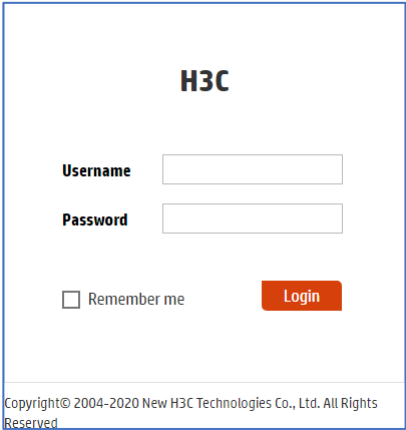
Webインターフェイスにアクセスするには、次のブラウザ設定を使用する必要があります。

- First-party Cookie(アクセスしているサイトのCookie)を受け入れます。
- Webブラウザに応じて、アクティブスクリプトまたはJavaScriptを有効にします。
- Microsoft Internet Explorerブラウザを使用している場合は、次のセキュリティ設定を有効にする必要があります。
 - ActiveXコントロールとプラグインを実行します。
- スクリプトに対して安全とマークされたスクリプトActiveXコントロール。ソフトウェアのアップグレードまたはダウングレード後にWebページの内容が正しく表示されるようにするには、ログインする前にブラウザでキャッシュされているデータをクリアします。

WebインターフェイスからAP apへのログイン

1. ブラウザのアドレスバーにAPのIPアドレスを入力します。
2. ログインページで、ユーザー名とパスワードを入力します。デフォルトでは、ユーザー名とパスワードはそれぞれadminとh3capadminです。

図2WebインターフェイスからのAPへのログイン



H3C

Username

Password

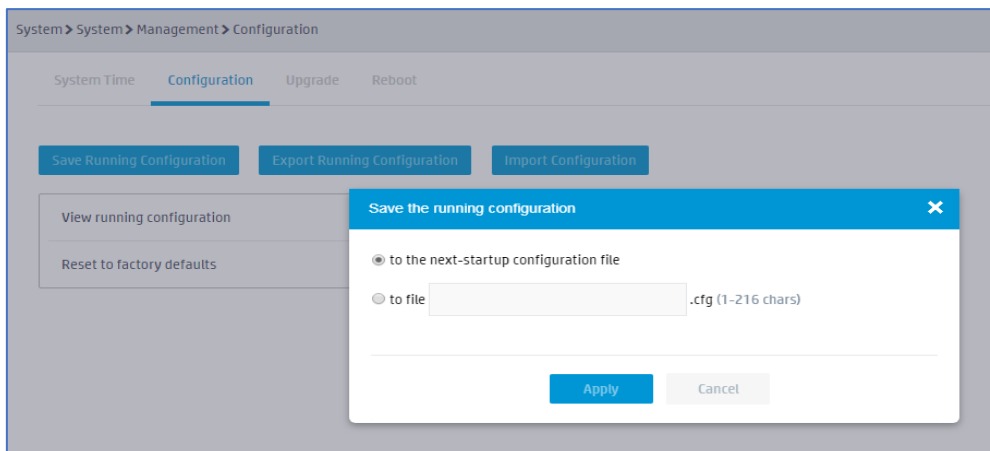
Remember me

Copyright© 2004-2020 New H3C Technologies Co., Ltd. All Rights Reserved

設定ファイルの保存とバックアップ

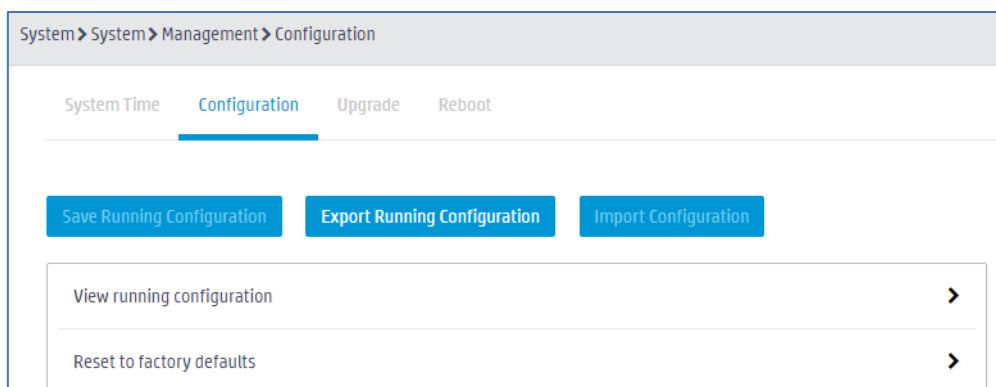
1. ページ下部のSystem Viewタブをクリックします。
2. ナビゲーションツリーで、System > Managementを選択します。
3. Configurationタブをクリックします。
4. Save Running Configuration をクリックします。
5. 表示されるダイアログボックスで、次のスタートアップコンフィギュレーションファイルを選択しApplyをクリック。

図3 コンフィグレーションファイルの保存



6. Configurationタブで、Export Running Configurationをクリックして設定ファイルをダウンロードします。

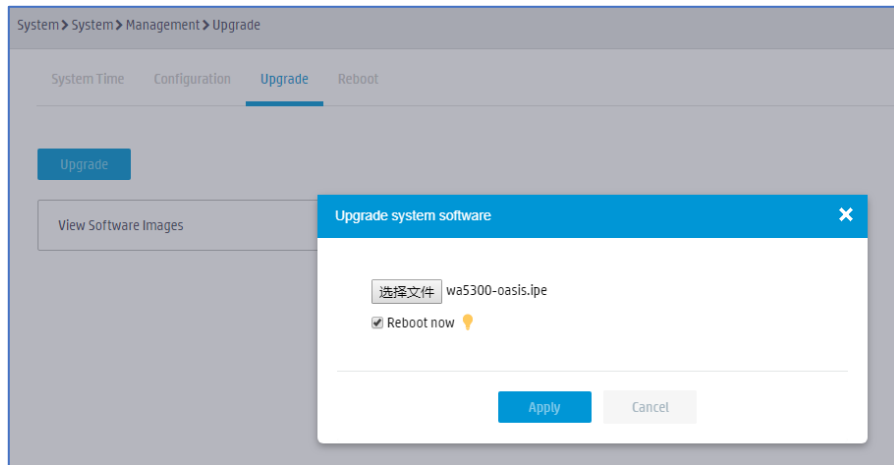
図4 コンフィグレーションファイルのバックアップ



ソフトウェアのアップグレード

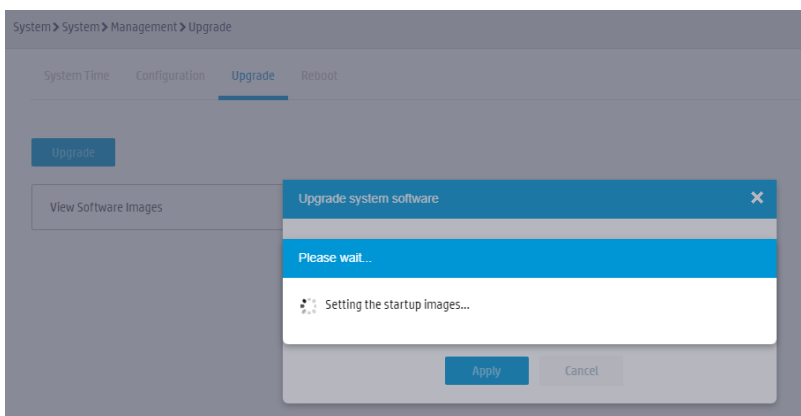
1. ナビゲーションツリーで、System > Managementを選択します。
2. Upgradeタブをクリックします。
3. Upgradeをクリックします。
4. 表示されるダイアログボックスで、ソフトウェアイメージファイルを選択し、Reboot nowを選択します。

図5ソフトウェアイメージファイルの選択



5. Applyをクリックします。

図6 ソフトウェアのアップグレード



ソフトウェアのアップグレードの完了

1. APの再起動後、WebインターフェイスからAPIにログインします。
2. ページ下部のSystem Viewタブをクリックします。
3. ナビゲーションツリーで、System > Managementを選択します。
4. Configurationタブをクリックします。
5. View running configurationをクリックします。
6. バージョン番号が正しいことを確認します。

図7 ソフトウェアバージョンのアップグレードの完了

```
System > System > Management > Configuration
1. #
2. version 7.1.064, Release 2430P01
3. #
4. sysname H3C
5. #
6. clock timezone Beijing add 08:00:00
7. #
8. wlan global-configuration
9. #
10. telnet server enable
11. #
12. port-security enable
13. #
14. dhcp enable
15. #
16. dns proxy enable
17. ip host myap.h3c.com 10.40.94.1
18. #
19. lldp global enable
20. #
21. password-recovery enable
```

BootWareメニューからのアップグレード

APがOasisモードで動作している場合は、BootWareメニューからAPのソフトウェアをアップグレードできます。

アップグレードの準備

❗ 重要:

APがフィットモードで動作する場合は、APモードをフィットからOasisに変換する必要があります。

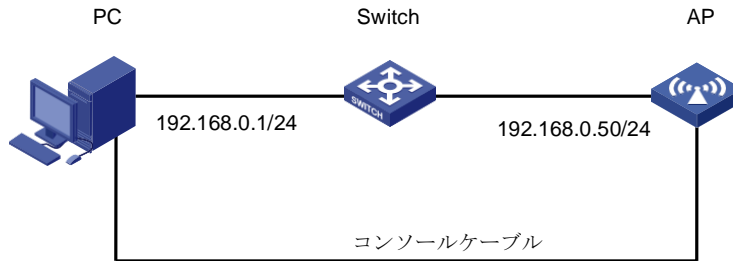
アップグレード環境のセットアップ

Oasis APIには、PoEまたは電源アダプタから電力を供給できます。次の方法を使用して、アップグレード環境を設定できます。

- 方法1(PoEを介してAPIに電力を供給):
 - a. イーサネットケーブルを使用して、PoE対応スイッチのPower Interface(PI)にAPを接続します。
 - b. イーサネットケーブルを使用して、PCをスイッチのイーサネットインターフェイスに接続します。
 - c. コンソールケーブルを使用して、PCをAPのコンソールポートに接続します。
 - d. APとPCが相互に到達できるようにルートを設定します。

- 方法2(電源アダプタを使用してAPIに電源を供給する):
 - a. イーサネットケーブルを使用して、PCをAPのイーサネットインターフェイスに接続します。
 - b. コンソールケーブルを使用して、PCをAPのコンソールポートに接続します。
 - c. APとPCが相互に到達できるようにルートを設定します。

図8アップグレード環境のセットアップ



ターミナルパラメータの設定

コンソールポートからスイッチを構成および管理するには、PC上で端末エミュレータプログラム (TeraTermProまたはPuTTY)を実行する必要があります。このエミュレータプログラムを使用して、ネットワークデバイス、TelnetサイトまたはSSHサイトに接続できます。端末エミュレータプログラムの詳細は、これらのプログラムのユーザーガイドを参照してください。

必要な端末設定は次のとおりです。

- ビット/秒: 9600。
- データビット: 8
- パリティ: なし
- ストップビット: 1
- フロー制御: なし

BootWareメニューからのアップグレード

拡張BOOTWAREメニューを入力する

1. APをリブートします。

```
System is starting...

Press Ctrl+D to access BASIC-BOOTWARE

MENU Booting Normal Extended BootWare

The Extended BootWare is self-decompressing.....

Done.

*****
```

```
*
*
*                               H3C WA530-WW BootWare, Version 7.24
*
*
*****
**** Copyright (c) 2004-2020 New H3C Technologies Co., Ltd.
```

```
Compiled Date           : Oct 16 2020
CPU Type                : ARM
CPU L1 Cache           : 32KB
CPU L2 Cache           : 256KB
CPU Clock Speed        : 710MHz
Memory Type            : DDR3 SDRAM
Memory Size            : 256MB
Memory Speed           : 667MHz
Flash Size             : 32MB
PCB Version            : Ver.A
```

BootWare Validating...

Press Ctrl+B to access EXTENDED-BOOTWARE MENU...

2. EXTENDED-BOOTWAREにアクセスするにはプロンプトが出たらCtrl+Bを入力します。

Password recovery capability is enabled.

Note: The current operating device is flash

Enter < Storage Device Operation > to select device.

=====<EXTENDED-BOOTWARE MENU>=====

|<1> Boot System

|

|<2> Enter Serial SubMenu

|

|<3> Enter Ethernet SubMenu

|

|<4> File Control

|

|<5> Restore to Factory Default Configuration

|

|<6> Skip Current System Configuration

|

|<7> BootWare Operation Menu

|

|<8> Skip Authentication for Console Login

|

|<9> Storage Device Operation

|<0> Reboot

|

=====
Ctrl+Z: Access EXTENDED ASSISTANT MENU

Ctrl+F: Format File

System Ctrl+C: Display

Copyright Ctrl+Y:

Change AP Mode Enter

your choice(0-9):

表3EXTENDED-BOOTWAREメニューオプション

項目	説明
<1>ブートシステム	システムソフトウェアイメージを起動します。
<2>シリアルサブメニューの入力	Serialサブメニューにアクセスして、コンソールポート経由でシステムソフトウェアをアップグレードするか、シリアルポート設定を変更します。
<3>イーサネットサブメニューの入力	Ethernetサブメニューにアクセスして、Ethernetポート経由でシステムソフトウェアをアップグレードしたり、Ethernet設定を変更したりできます。
<4>ファイル制御	File Controlサブメニューにアクセスして、デバイスに保存されているファイルを取得および管理します。
<5>出荷時のデフォルト設定に戻す	次のスタートアップコンフィギュレーションファイルを削除し、工場出荷時のデフォルト設定をロードします。
<6>現在のシステム構成をスキップ	工場出荷時のデフォルト設定でデバイスを起動します。これは1回限りの操作であり、次のリブート時には有効になりません。このオプションは、コンソールパスワードを忘れた場合に使用します。
<7>BootWare操作メニュー	BootWareをバックアップ、復元、またはアップグレードするtWare操作メニューにアクセスします。 システムソフトウェアイメージをアップグレードすると、BootWareが自動的にアップグレードされます。 ベストプラクティスとして、BootWareを個別にアップグレードしないでください。
<8>コンソールログインのための認証スキップ	コンソールポートのすべての認証スキームをクリアします。

<9>ストレージデバイスの操作	ストレージデバイスの操作メニューにアクセスして、ストレージデバイスを管理します。
<0>再起動	装置の再起動

Ethernetサブメニューへのアクセス

1.EXTENDED-BOOTWAREメニューで、3と入力してEthernetサブメニューにアクセスします。

```

=====<Enter Ethernet SubMenu>=====

|Note:the operating device is flash          |
|<1> Download Image Program To SDRAM And Run  |
|<2> Update Main Image File                  |
|<3> Update Backup Image File                |
|<4> Download Files (*.*)                    |
|<5> Modify Ethernet Parameter               |
|<0> Exit To Main Menu                       |
|<Ensure The Parameter Be Modified Before Downloading!>|
=====

Enter your choice(0-5):

```

表4イーサネットサブメニューオプション

項目	説明
<1>イメージプログラムをSDRAMにダウンロードして実行	システムソフトウェアイメージをSDRAMにダウンロードし、イメージを実行します。
<2>メインイメージファイルを更新	メインシステムソフトウェアイメージをアップグレードします。
<3>バックアップ・イメージ・ファイルの更新	バックアップシステムソフトウェアイメージをアップグレードします。
<4>ファイルのダウンロード(*.*)	システムソフトウェアイメージをフラッシュカードまたはCFカードにダウンロードします。
<5>イーサネットパラメータの変更	ネットワーク設定を変更します。
<0>メインメニューに戻る	EXTENDED-BOOTWAREメニューに戻ります。

ネットワーク設定の構成

1.ネットワーク設定を構成するには、5を入力します。

```
===== <ETHERNET PARAMETER SET> =====
|Note: '.' = Clear field.                                     |
|'| = Go to previous field.                                 |
|Ctrl+D = Quit.                                             |
=====
Protocol (FTP or TFTP) :tftp
Load File Name :wa5300-oasis.ipe
:
Target File Name:wa5300-oasis.ipe
:
Server IP Address :192.168.100.12
Local IP Address :192.168.100.142
Subnet Mask :0.0.0.0
Gateway IP Address :0.0.0.0
```

表5ネットワークパラメータフィールドとショートカットキー

フィールド	説明
'.' = クリアフィールド	フィールドの設定をクリアするには、ドット(.)を押してからEnterを押します。
' ' = 前のフィールドに移動	ハイフン(-)を押してからEnterキーを押すと、前のフィールドに戻ります。
Ctrl+D = 終了	Ctrl+Dを押して、Ethernet Parameter Setメニューを終了します。
プロトコル(FTPまたはTFTP)	ファイル転送プロトコルをFTPまたはTFTPに設定します。
ファイル名をロード	ダウンロードするファイルの名前を設定します。
ターゲットファイル名	デバイスにファイルを保存するためのファイル名を設定します。デフォルトでは、ターゲットファイル名はソースファイル名と同じです。
サーバーのIPアドレス	FTPまたはTFTPサーバーのIPアドレスを設定します。マスクを設定する必要がある場合は、コロン(:)を使用してマスク長とIPアドレスを区切ります。たとえば、160.2.1.100:24のようになります。
ローカルIPアドレス	デバイスのIPアドレスを設定します。
サブネットマスク	ローカルIPアドレスのサブネットマスク。

ゲートウェイIPアドレス	デバイスがサーバーとは異なるネットワーク上にある場合は、ゲートウェイIPアドレスを設定します。
FTPユーザー名	FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名を設定します。このユーザー名は、FTPサーバーで構成されているユーザー名と同じである必要があります。このフィールドはTFTPでは使用できません。
FTPユーザーパスワード	FTPサーバーにアクセスするためのパスワードを設定します。このパスワードはFTPサーバーに設定されているものと同じである必要があります。このフィールドはTFTPでは使用できません。

ソフトウェアイメージのダウンロード

1. システムソフトウェアイメージをアップグレードするには、Ethernetサブメニューのオプション2または3を選択します。たとえば、メインシステムソフトウェアイメージをアップグレードするには、2と入力します。

```

Loading.....
.....
.....
.....
.....Done.
36706304 bytes downloaded!
Loading file wa5300-oasis-boot.bin...Done!
Loading file wa5300-oasis-system.bin...Done!
Image file wa5300-oasis-boot.bin is self-decompressing.....
.....
.....
.....Done.

```

2. 0を入力すると、拡張BOOTWAREメニューに戻ります。

```

Enter your choice(0-5): 0

=====<EXTENDED-BOOTWARE MENU>=====

|<1> Boot System |
|<2> Enter Serial SubMenu |
|<3> Enter Ethernet SubMenu |
|<4> File Control |
|<5> Restore to Factory Default Configuration |
|<6> Skip Current System Configuration |

```

```
|<7> BootWare Operation Menu |
|<8> Skip Authentication for Console Login |
|<9> Storage Device Operation |
|<0> Reboot |
```

```
=====  
Ctrl+Z: Access EXTENDED ASSISTANT MENU
```

```
Ctrl+F: Format File System
```

```
Ctrl+C: Display Copyright
```

```
Enter your choice(0-9):
```

3. 1を入力してシステムをブートします。

```
Enter your choice(0-9): 1
```

```
Loading the main image files...
```

```
Loading file flash:/wa5300-oasis-system.bin.....
```

```
.....
```

```
.....
```

```
.....
```

```
Done.
```

```
Loading file flash:/wa5300-oasis-boot.bin.....Done.
```

```
Image file flash:/wa5300-oasis-boot.bin is self-
```

```
decompressing.....
```

```
.....Done.
```

```
System image is STArting...
```

```
Press Ctrl+I to enter inter-initiate mode... 0 s
```

```
STArtp configuration file does not exist.
```

```
Line con0 is available.
```

```
Press ENTER to get STArtd.
```

4. アップグレード後、Webインターフェイスを介してAPにログインし、APが最新のComware7ソフトウェアを使用していることを確認します。

Xmodemを使用したコンソールポート経由の BootWareのアップグレード

コマンド出力情報はデバイスモデルによって異なります。

Xmodemを使用してコンソールポート経由でBootWareをアップグレードするには:

1. デバイスの電源を入れます。
2. **Press Ctrl+D to access BASIC-BOOTWARE MENU**と表示された直後に**Ctrl+D**を押します。

System is starting...

Press Ctrl+D to access BASIC-BOOTWARE MENU

```

=====<BASIC-BOOTWARE MENU (Ver 7.12) >=====
|<1> Modify Serial Interface Parameter |
|<2> Update Extended BootWare |
|<3> Update Full BootWare |
|<4> Boot Extended BootWare |
|<5> Boot Backup Extended BootWare |
|<0> Reboot |
=====

```

Ctrl+U: Access BASIC ASSISTANT MENU

Ctrl+A: Enter Command Line

Ctrl+C: Display Copyright

Enter your choice(0-5): 1

3. コンソールポートのボーレートを設定するメニューにアクセスするには、**BASIC-BOOTWARE**メニューに**1**を入力します。

```

=====<BAUDRATE SET>=====
|Note: '*' indicates the current baudrate |
| Change The HyperTerminal's Baudrate Accordingly |
|-----<Baudrate Available>----- |
|<1> 9600(Default)* |
|<2> 19200 |
|<3> 38400 |
|<4> 57600 |
|<5> 115200 |
|<0> Exit |
=====

```

Enter your choice(0-5): 0

4. ボーレートを選択します。

重要:

- デフォルト以外のボーレート値を使用する場合は、設定端末に再接続し、そのボーレートをBootWareメ

ニューで選択したボーレートと同じ値に変更する必要があります。

- ボーレートの変更は1回限りの操作です。ボーレートは再起動時にデフォルト(9600bps)に復元されません。再起動後にデバイスとのコンソールセッションをセットアップするには設定端末を9600bpsに戻します。

この例では、0と入力します。デフォルトのボーレートが選択された状態でBASIC-BOOTWAREメニューに戻ります。

```
=====<BASIC-BOOTWARE MENU (Ver 7.12) >=====
|<1> Modify Serial Interface Parameter                |
|<2> Update Extended BootWare                        |
|<3> Update Full BootWare                            |
|<4> Boot Extended BootWare                          |
|<5> Boot Backup Extended BootWare                   |
|<0> Reboot                                          |
=====
Ctrl+U: Access BASIC ASSISTANT MENU
Ctrl+A: Enter Command Line
Ctrl+C: Display Copyright
Enter your choice(0-5):
```

表6 BASIC-BOOTWAREメニューオプション

オプション	タスク
<1>シリアルインターフェイスパラメータの変更	コンソールポートのボーレートを変更します。 ソフトウェアアップグレードのためにコンソールポートからイメージをダウンロードする前に、次の作業を実行します。
<2>拡張BootWareの更新	拡張BootWareセグメントのアップグレード
<3>フルBootWare更新	基本セグメントと拡張セグメントを含むBootWare全体をアップグレードします。
<4>ブート拡張BootWare	プライマリ拡張BootWareセグメントを実行します。
<5>ブートバックアップによるBootWareの拡張	バックアップ拡張BootWareセグメントを実行します。
<0>再起動	デバイスを再起動します。

5. BASIC-BOOTWAREメニューに3と入力し、BootWare全体をアップグレードします。

Please Start To Transfer File, Press <Ctrl+C> To Exit.

Waiting ...CCCCCCCCC

6. 端末を開き、メニューバーでXmodemを選択し、アップグレードするBootWareイメージバージョンを選択します。

選択したボーレートによっては、Xmodemファイル転送が遅くなる場合があります。

7. ファイル転送が完了したら、Yと入力してBootWareをアップグレードします。

```
Starting xmodem transfer. Press Ctrl+C to cancel.
```

```
Transferring 34368_v1.06.btw...
```

```
100% 644 KB 0 KB/s 00:12:48 0 Errors
```

```
Download successfully!
```

```
659456 bytes downloaded!
```

```
Updating Basic BootWare? [Y/N]Y
```

```
Updating Basic BootWare.....Done.
```

```
Updating Extended BootWare? [Y/N]Y
```

```
Updating Extended BootWare.....Done.
```

```
=====<BASIC-BOOTWARE MENU (Ver 7.12) >=====
```

```
|<1> Modify Serial Interface Parameter |
```

```
|<2> Update Extended BootWare |
```

```
|<3> Update Full BootWare |
```

```
|<4> Boot Extended BootWare |
```

```
|<5> Boot Backup Extended BootWare |
```

```
|<0> Reboot |
```

```
=====
```

```
Ctrl+U: Access BASIC ASSISTANT MENU
```

```
Ctrl+A: Enter Command Line
```

```
Ctrl+C: Display Copyright
```

```
Enter your choice(0-5): 0
```

8. BASIC-BOOTWAREメニューに0と入力して、新しいBootWare用にデバイスをリブートします。新しいBootWareバージョンに関する情報が表示されます。

付録C APモードのfitからOasisへの変換

BootWareメニューからAPモードを変換する

① 重要:

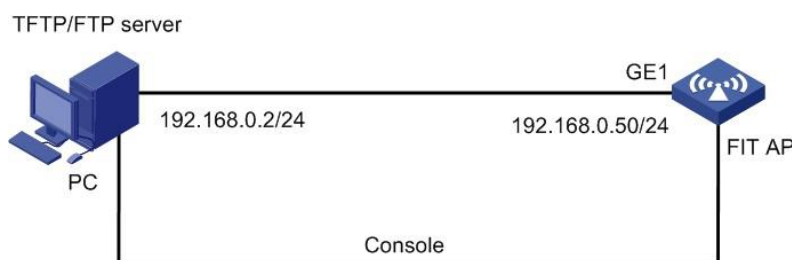
コンフィギュレーションファイルがAPに保存されている場合は、モード変換の前にdeleteコマンドまたはBootWareメニューを使用してAPからファイルを削除します。

このセクションの出力は説明用であり、BootWareメニューとは異なる場合があります。

BootWareメニューからAPモードをfitからOasisに変換するには:

1. 設定環境を設定します(図9を参照)。

図9 構成環境のセットアップ



2. APをリブートします。出力例を次に示します。

```
System is starting...
```

```
Press Ctrl+D to access BASIC-BOOTWARE MENU
```

```
Booting Normal Extended BootWare
```

```
The Extended BootWare is self-decompressing.....
```

```
...Done.
```

```
*****
```

```
*
```

```
*
```

```
* H3C WA530-WW BootWare, Version 7.24
```

```
*
```

```
*
```

```
*
```

```
*****
```

```
Copyright (c) 2004-2020 New H3C Technologies Co., Ltd.
```

```
Compiled Date : Oct 16 2020
```

```
CPU Type : ARM
```

```
CPU L1 Cache : 32KB
```

```
CPU L2 Cache : 256KB
```

CPU Clock Speed : 710MHz

Memory Type : DDR3 SDRAM

Memory Size : 256MB

Memory Speed : 667MHz

Flash Size : 32MB

PCB Version : Ver.A

BootWare Validating...

Press Ctrl+B to access EXTENDED-BOOTWARE MENU...

3. プロンプトでCtrl+Bを押してEXTENDED-BOOTWAREメニューに入ります。メニューオプションの詳細については、表3を参照してください。

Password recovery capability is enabled.

Note: The current operating device is flash

Enter < Storage Device Operation > to select device.

=====<EXTENDED-BOOTWARE MENU>=====

<1> Boot System	
<2> Enter Serial SubMenu	
<3> Enter Ethernet SubMenu	
<4> File Control	
<5> Restore to Factory Default Configuration	
<6> Skip Current System Configuration	
<7> BootWare Operation Menu	
<8> Skip Authentication for Console Login	
<9> Storage Device Operation	
<0> Reboot	

=====

Ctrl+Z: Access EXTENDED ASSISTANT MENU

Ctrl+F: Format File System

Ctrl+C: Display Copyright

Ctrl+Y: Change AP Mode

Enter your choice(0-9):

4. Ctrl+Yを入力し、APモードに変更します。

Please select the new mode

Current mode is Fit

=====

NO. Mode	
----------	--

```
|1 Fat Mode |
|2 Fit Mode |
|3 Anchor-AC (Virtual AC mode) |
|4 Anchor-Fit |
|5 Oasis Mode |
|0 Exit |
```

Enter your choice(0-2):

- 5を入力し、APモードをfitからoasisに変更します。

Enter your choice(0-2):5

Changed to oasis mode successfully!

- APがoasisモードを開始するためにBootwareメニューからOasis APイメージをロードします。

CloudnetからAPモードを変換する

この方法はバージョン R2433かそれ以降のバージョンのみ可能です。

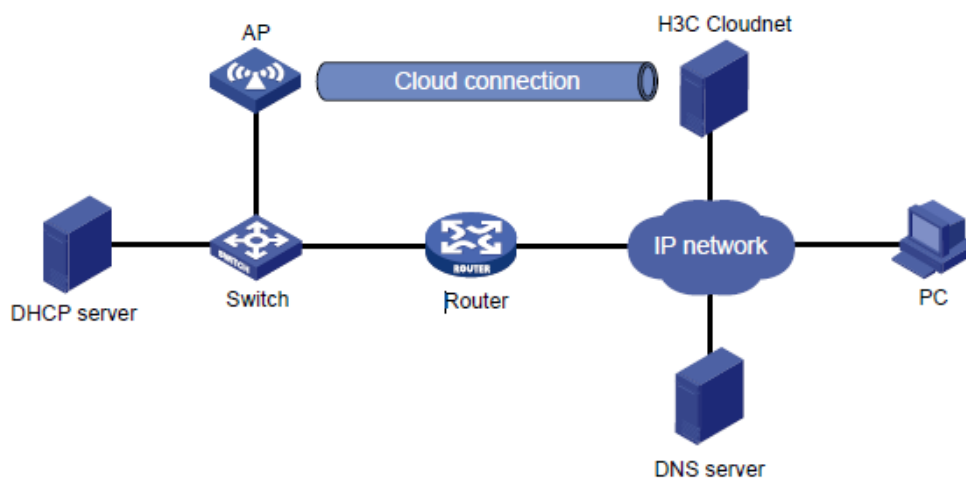
APモードをCloudnetにより、fitからoasisに変換する。

- 図10に示すように構成環境をセットアップし、DHCPを介してIPアドレスを取得するようにAPを構成します。

次の条件が満たされていることを確認してください。

- APはどのACにも登録できません。
- APは、DHCPサーバーによって割り当てられたIPアドレスを使用して、パブリックネットワークに到達できます。
- DNSサーバーはCloudnetのアドレスを正しく変換できます。

図10 構成環境のセットアップ



2. Cloudnetにアクセスするには、次のいずれかの方法を使用します。Webインターフェイスからプラットフォームにアクセスするには、ブラウザからoasiscloud.h3c.comにアクセスし、ユーザー名とパスワードを入力します。
3. CloudnetにAPを追加します。
 - a. 上部のナビゲーションバーNetworkをクリックし、左側のナビゲーションペインでNetwork > Devicesを選択します。
 - b. ページの左上隅からターゲットブランチとサイトを選択し、Addをクリックします。
 - c. サイト、デバイス名、デバイスシリアル番号を指定し、Addをクリックします。

図11 デバイスの追加

Site * H3C Demo
No site exists ?

Device Name * WA538-JP

SN * 219801A1QT9198Q00070

Device Category General IRF

Add

4. APを起動します。APが起動してACの検出に失敗すると、その動作モードはCloudnetとの最初のアソシエーションでOasisに変更されます。
5. APモードを手動で変換するには、トップ・ナビゲーション・バーの「ネットワーク」をクリックし、左ナビゲーションペインで「設定」>「クラウドAP」>「Oasisモード」を選択します。次に、ターゲットAPのOasisモードを有効にします。

図12 Oasisモードの有効化

Branch : mynet Site : r111

Oasis Mode

You can enable Oasis mode for an AP to act as an Oasis AP

Refresh On Off

Device Name	SN	AP Mode	Oasis Mode	Last Associated	Last Mode Switching
219801A1HL8189E000151	219801A1HL8189E000151	Fit AP	On	2020-06-30 09:57:13	2020-06-30 09:57:13

Showing 1 to 1 of 1 entries

First Previous Next Last Per Page 10